

池田泉州ホールディングス
2016.9 中間期ミニディスクロージャー誌

innovation

P.7

地域創生の深化

地域との共存共栄を目指して

しごとを創造し、地域にひとが集まる仕組みをつくり、活気のあるまちへ。

P.3

第3次中期経営計画

「変えること」と「変えないこと」

P.5『地元の中小企業と個人』に focus した貸出構造へ

P.11 平成28年度中間期の業績

P.13 株主の皆さまへ

「変えること」と「変えないこと」

池田泉州ホールディングス 取締役社長
池田泉州銀行 取締役頭取

藤田 博久

Profile

■ 池田泉州ホールディングス

設 立 日	平成21年10月1日
本 社 所 在 地	大阪府大阪市北区茶屋町18番14号
資 本 金	1,029億円
事 業 の 内 容	銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の事業
従 業 員 数	106名
上 場 取 引 所	東京証券取引所

■ 池田泉州銀行

設 立 日	昭和26年9月1日
本 社 所 在 地	大阪府大阪市北区茶屋町18番14号
資 本 金	613億円
預 金	4兆7,927億円
貸 出 金	3兆7,519億円
店 舗 数	138カ店
従 業 員 数	2,540名
格 付	格付投資情報センター (R&I) A- 日本格付研究所 (JCR) A-

■ 池田泉州T T証券

設 立 日	平成25年1月30日
本 社 所 在 地	大阪府大阪市北区茶屋町18番14号
資 本 金	12億5,000万円
預かり資産残高	899億円
店 舗 数	3カ店
従 業 員 数	91名

(平成28年9月末日現在)

はじめに ～今期の業績を振り返って

連結中間純利益は、マイナス金利政策など厳しい外部環境の中、3億円増益の88億円となりました。預貸金も順調に増加しており、特に中小企業向け貸出は、前年比892億円と大幅に増加しました。

第3次中期経営計画策定について

人口減少等、将来の環境変化の中でも安定的な成長を続けるため、当社グループは、この春「第3次中期経営計画」を策定しました。
主な経営目標として、「連結当期純利益200億円以上」「株主資本ROE8%以上」「グループ個人総預かり資産残高5兆円以上」「中小企業貸出残高1兆5千億円以上」「非金利収益比率20%」を掲げ、「中小企業と個人を収益基盤とし、金利以外にも確固たる収益源を持つ、高収益かつROEの高い銀行グループ」を目指します。
戦略テーマとして、「変えること」と「変えないこと」を明確化し、これらを「両輪」として推進してまいります。

「変えること」～収益構造を抜本的に変革

「変えること」としまして、「貸出金」「預金」「有価証券」「非金利収益」「顧客」「人員」「経費」の7つの分野において「構造イノベーション」を断行し、収益構造を大きく変革します。
例えば「貸出金」では、“地元の中小企業と個人”に徹底的にフォーカスすると共に、地元以外の大企業取引は圧縮します。独自のビジネスモデル“貸出は収益ビジネスの入口”のもと、地元中小企業の事業内容や成長性をしっかりと評価し、多様な顧客ニーズに応じた提案を幅広く進めることで、取引の「幅」

と「金額」両方の総合的な拡大につなげます。
こうした提案活動を更に推進するため、本年6月、対面での複合提案や本部サポート機能を“リレーションユニット”として、CS本部内に集約・設置しました。地元中小企業への様々な提案を、これまで以上に積極的かつスピーディーに進めてまいります。

「変えないこと」～地域との共存共栄

その一方で、地域金融機関として将来に亘って絶対に「変えないこと」を、改めて明確にしました。
それが“地域との共存共栄”です。これまでも地域が成長して初めて当社グループも成長できる認識のもと、“地域活性化”や“地域”創生に積極的に取り組んできましたが、更に一層注力してまいります。
例えば、“地域”創生の観点で私ども金融機関ができることは、まず「しごと」、次に「ひと」だと考えています。自治体等と連携して、地域の「しごと」を創造し、地域に「ひと」が集まる仕組みを作るお手伝いをする事で、結果として、活気のある「まち」づくりに繋がりたいとの思いです。
私どもは、現在23府市町、15大学と連携協定を締結しており、これをベースに地元企業への制度融資、大学発のベンチャー企業への投融資は勿論、創業支援、子育て支援、人材育成など様々な分野で協働を進めており、今後こうした取組みを更に拡大していく方針です。

当社グループは、地域の皆さまとの“ご縁”と“リレーション”を大切に、自らイノベーションを起こしながら、“未来をつくり”、“未来へつなぐ”取組みを全力で進めてまいります。
引き続き、ご支援、ご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第3次中期経営計画

池田泉州ホールディングスでは、人口減少や日本銀行によるマイナス金利政策などの大きな環境変化を踏まえ、成長戦略をより確かなものとするため、「第3次中期経営計画」を策定いたしました。

「第3次中期経営計画」のコンセプトとして、『7つの構造イノベーション』を掲げ、グループの収益構造を抜本的に変革するとともに、地域活性化や“地域”創生にこれまで以上に積極的に取り組んでまいります。

目指すべき経営指標

経営指標		2015年度(H27年度) 【実績】	2018年度(H30年度) 【第3次中期経営計画】
持株会社 (連結)	当期純利益	164億円	200億円以上
	株主資本ROE	7.7%	8%以上
	グループ個人総預かり資産残高	4.5兆円	5兆円以上
銀行 (単体)	中小企業貸出残高	1.2兆円	20%以上増加 ▶ 1.5兆円以上
	非金利収益比率	12.7%	20%

変えること

『7つの構造イノベーション』を遂行

地元顧客基盤を拡充
(第2次中期経営計画での戦略テーマを加速)

収益構造を抜本的に変革

変えないこと

地域との『共存共栄』
～地域第一主義

“地域”創生への取り組み

『まち・ひと・しごと創生』

地元自治体・大学との
ネットワーク構築・活用

PICK
UP
P7へ

『7つの構造イノベーション』

貸出金	『地元の中小企業と個人』にfocusした貸出構造へ
預金	『流動性比率の向上』と『預金利回りの改善』
有価証券	『運用の多様化』と『リスク管理の高度化』を併進
非金利収益	・預かり資産販売を『ストック収益』主体に転換 ・『繋ぐビジネス』を拡大
顧客	(法人)『新・マザーエリア(攻めるエリア)』の取引シェアを大幅拡大 (個人)世代別取引拡大施策を強化
人員	『削減』から『戦略的な増強』へ
経費	BPR 第2フェーズへ ～『仕組み』の変革

PICK
UP
P5へ

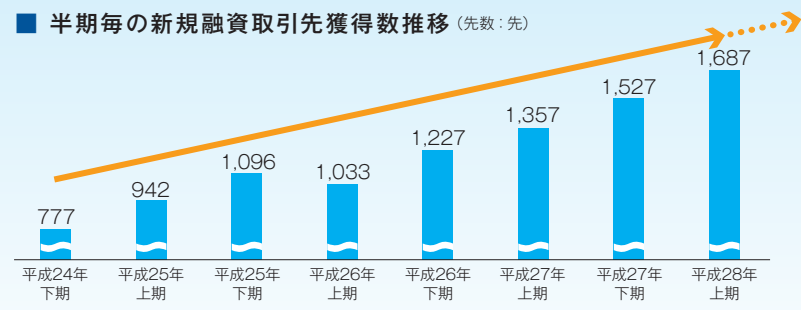
『7つの構造イノベーション』（貸出金） 『地元の中小企業と個人』に focusした貸出構造へ

特に注力している中小企業貸出については、“貸出は収益ビジネスの入口”の考えの下、
新規取引先を獲得し集中的な複合提案を行うことで、
取引の「幅」、「額」を拡げ、営業エリアのシェアを「13%」から「15%」へ拡大。
貸出構造を地元中小企業を中心とした構造へ転換。

エリアシェア → **13%** から

1st Step 新規取引先の獲得（大半が既存先からのご紹介）

合併時に本店を構えた大阪市をはじめとする『新・マザーエリア』を中心に、新規融資
取引先の獲得は順調に増加。
今後も安定的に半期1,500先以上の新規融資取引先を獲得できる体制に。



2nd Step 地元地銀の利を生かし 新規融資先に集中的な複合提案

幅広いお客さまのニーズに応えるべく、
商品ラインナップや各種施策を拡充。

会える機会の増加

ご縁のネットワーク
「課題検討会」によるニーズ分析

ニーズの掘り起し

- 販路拡大 → 各種販路商談会
- 雇用
- 合同企業就職説明会
- ぎせんこう合同説明会
- 情報発信
- MBSラジオ「日本一明るい経済電波新聞」

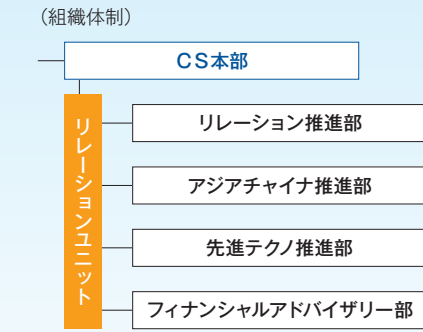
商品ラインナップ

特別戦略ファンド
関西活性化融資ファンド I・II
ものづくり技術応援融資 ～技ひろがる～

お客さまのニーズを一元管理し、
最も適したソリューションを提供すべく、
組織面も見直し。

（対面営業部門をリレーションユニットに集中）

本支店一体となった独自の提案、ソリューションの提供



地元地銀の利を生かし、複合提案力で
ますます差別化。
～本部の専門スタッフが全店に
1時間以内に訪問しサポート

エリアシェア →

15% へ

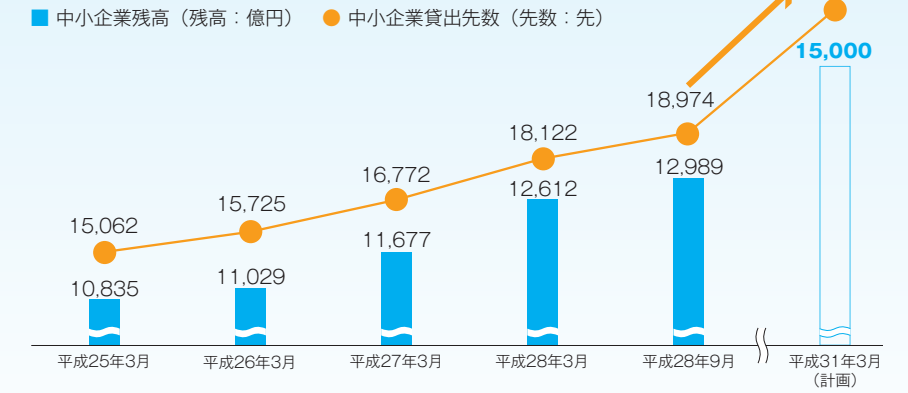
3rd Step 取引の『幅』を拡げ、取引の『額』を拡大

ステージに応じた提案を行うことで、取引の「幅」、「額」を拡大。

- 技術・製品に関する「標準化」サポート
- 大阪府オリジナル「認証制度」活用セミナー
- ビジネス交流会／ビジネス・エンカレッジ・フェア
- 合同企業就職説明会
- FTA関連サポート／「海外展開入門」セミナー
- SI地域創生ファンド／地域創生融資ファンド
- 創業支援デスク
- 創業応援ローン
- 「夢ひろがるプラス」
- SI創業応援ファンド
- ニュービジネス助成金
- コンソーシアム研究開発助成金
- 国・自治体の補助金活用サポート
- 転業・廃業支援
- 関西広域中小企業再生ファンド／SIみらいファンド
- M&Aサポート
- 事業承継ファンド絆の活用
- 第二創業支援

創業期 → 成長・成熟期 → 再生・衰退期（事業承継）

■ 中小企業向け貸出金の残高、中小企業貸出金の先数



地域創生の深化 地域との共存共栄を目指して

池田泉州ホールディングスでは、かねてより「地域との共存共栄」を目指して、
地元23府市町、15大学、公的支援機関と連携協定を締結し、
地域創生に向けた様々な取組みを進めております。

「しごと」を創造し、地域に「ひと」が集まる仕組みをつくる
お手伝いをする事で、活気のある「まち」づくりに繋がっていきます。



しごとを創造し、

地域における「しごと」の創造

創業支援
助成金制度、幅広い投融资、創業融資先へのアフターフォロー
ものづくり支援
産学官ネットワークを生かしたサポート
ビジネスマッチング
各種販路商談会、自治体等との連携による雇用マッチング



地域にひとが 集まる仕組みをつくり、 「ひと」が集まる仕組みづくり



活気のあるまちへ。

「まち」の形成への取組み

PPP/PFIの推進

企業誘致支援

地域における成長産業への取組み
「観光」、「農業」、「ICT」関連等

空き家対策応援ローンの取扱い

地域ブランドの応援・地域情報の発信
「芸術」、「文化」、「スポーツ」等



地域創生の深化

地域との共存共栄を目指して

しごとの創造

池田泉州ホールディングスは、「地域との共存共栄」を目指して、「地域」創生に向けた様々な取組みを進めております。創業支援、ものづくり支援、ビジネスマッチングなど、地域と一体となり、この地域に“しごと”を創るお手伝いをいたします。

ビジネスマッチングの取組み

地域の中小企業をはじめとした特徴ある製品やサービス、大学、公設研究機関による先進技術など、産学官の出会いの場を設け、多面的なビジネスチャンスを創出します。

- 「ビジネス・エンカレッジ・フェア2016」の開催
- 「ビジネス交流会」の開催
- 「中国ビジネスセミナー」の開催



創業支援の取組み

営業店に「創業応援窓口」を設置し、専用の融資商品によるご融資や助成金交付など様々なサポートにより、地域経済の活性化に繋がる創業を応援します。



- 大阪信用保証協会との連携による創業応援ローン「夢ひろがる」・「夢ひろがるプラス」の取扱い開始
- 日本政策金融公庫との連携強化
- 「第5回地域産業支援プログラム表彰（イノベーションネットアワード2016）」優秀賞を受賞

ものづくり支援の取組み

全国有数のものづくり企業が集積する大阪に本店を置く地域金融機関として、独自の産学官ネットワークを生かして、「特許申請」、「標準化」のサポートなど“ものづくり”を行う事業者さまのサポートを行います。



- 地元企業の技術・製品に関する「標準化」をサポート
- 「大阪府オリジナル『認証制度』活用セミナー」を開催
- 「ものづくり技術応援融資 ～技ひろがる～」の取扱い開始

ひとが集まる仕組みづくり

池田泉州ホールディングスは、地元の自治体と一緒にあって、地域に“ひと”が集まる取組みを進めております。定住・転入のお手伝いをはじめ、妊娠・出産から、安心して子育てができる環境づくりを応援してまいります。

定住・転入

地元自治体と連携し、若年世代の定住促進など、地域にひとが集まる取組みを行っております。「親元近居住宅ローン」、「転入促進・定住促進住宅ローン」等、地元自治体と連携した住宅ローンの取扱いは8市町まで拡大しました。

- 親元近居住宅ローン（川西市・豊能町・泉佐野市・岸和田市・宝塚市・伊丹市・貝塚市）
- 転入促進・定住促進住宅ローン（熊取町・泉佐野市）

妊娠・出産

地域で安心して子どもを産める環境を充実させるため、様々な取組みを行っています。「妊活・育活応援ローン」の取扱いに加え、地元自治体がお祝い金を支給する制度と合わせて、池田泉州銀行からもお祝い金付の新生児名義の積立定期預金通帳をお渡しするなど、地元自治体と連携した様々な取組みにより、地域の妊娠・出産を応援しております。

- みらいギフト（結婚子育て応援プラン）
- 妊活・育活応援ローンの利子補給（池田市・箕面市）
- エンゼル積立（池田市・猪名川町・川西市）

教育・子育て

営業店に、安心して授乳やおむつ替えができるスペースである「赤ちゃんの駅」を順次設置するなど、乳幼児を持つ地域の子育て世代が安心して外出できる環境づくりを整備し、地域の教育・子育てを応援しております。

- 営業店に「赤ちゃんの駅」を設置（11市町28店舗）
- おりひめ教育ローン（交野市）
- エコノミクス甲子園（兵庫大会）を主催



活気のあるまちづくり

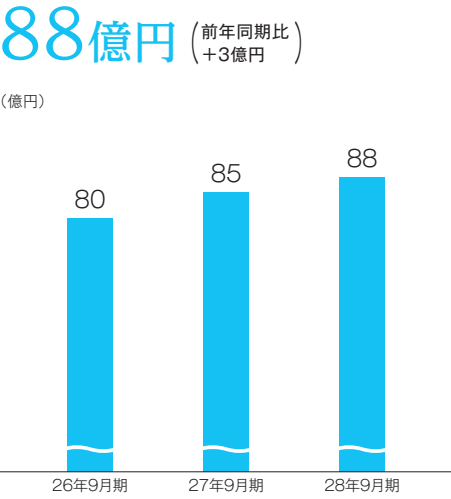
地域に“しごと”を創り、“ひと”を集めることで大阪を中心としたこのエリアのますますの活性化、活気のある“まち”づくりを目指してまいります。



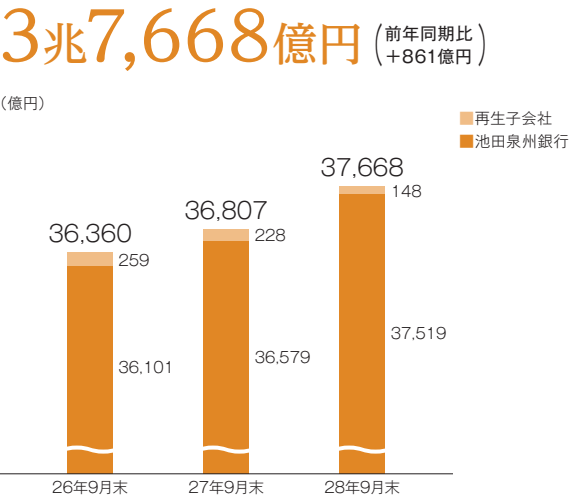
平成28年度中間期の業績

業績ハイライト

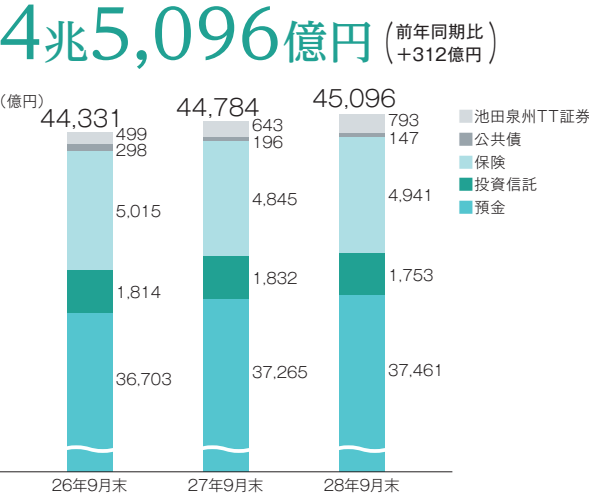
親会社株主に帰属する中間純利益（持株会社連結）



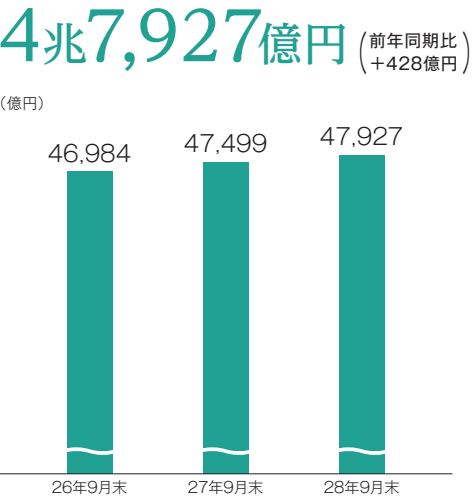
貸出金残高（銀行単体+再生子会社）



個人総預かり資産残高（銀行単体+証券子会社）



預金残高（銀行単体）



中間連結財務諸表（池田泉州ホールディングス）

中間連結貸借対照表
（平成28年9月30日現在）

科目	金額
（資産の部）	
現金預け金	560,361
コールローン及び買入手形	951
買入金銭債権	112
商品有価証券	216
金銭の信託	28,664
有価証券	1,060,916
貸出金	3,759,044
外国為替	7,490
その他資産	53,588
有形固定資産	37,988
無形固定資産	5,517
退職給付に係る資産	12,870
繰延税金資産	12,886
支払承諾見返	13,311
貸倒引当金	△21,693

（単位：百万円）

科目	金額
（負債の部）	
預金	4,747,268
債券貸借取引受入担保金	255,320
借入金	155,128
外国為替	453
社債	45,000
その他負債	47,682
賞与引当金	2,040
退職給付に係る負債	680
役員退職慰労引当金	33
睡眠預金払戻損失引当金	492
ポイント引当金	237
偶発損失引当金	331
特別法上の引当金	0
繰延税金負債	50
支払承諾	13,311
負債の部合計	5,268,032

（純資産の部）	
資本金	102,999
資本剰余金	57,365
利益剰余金	74,596
自己株式	△2,344
株主資本合計	232,616
その他有価証券評価差額金	25,142
繰延ヘッジ損益	△185
退職給付に係る調整累計額	1,839
その他の包括利益累計額合計	26,796
新株予約権	82
非支配株主持分	4,700
純資産の部合計	264,194
負債及び純資産の部合計	5,532,226

中間連結損益計算書
（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）（単位：百万円）

科目	金額
経常収益	51,919
資金運用収益	29,101
（うち貸出金利息）	(21,428)
（うち有価証券利息配当金）	(7,442)
役務取引等収益	9,704
その他業務収益	6,061
その他経常収益	7,051
経常費用	40,063
資金調達費用	3,262
（うち預金利息）	(1,661)
役務取引等費用	3,046
その他業務費用	1,690
営業経費	25,888
その他経常費用	6,174
経常利益	11,856
特別損失	205
固定資産処分損	149
減損損失	55
税金等調整前中間純利益	11,650
法人税、住民税及び事業税	1,479
法人税等調整額	△198
法人税等合計	1,281
中間純利益	10,369
非支配株主に帰属する中間純利益	1,551
親会社株主に帰属する中間純利益	8,817

株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を重要な経営課題と位置づけております。株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動、株主還元方針などをご説明し、当社のことをよく知っていただくとともに、株主の皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

株主懇談会

株主の皆さまとの対話の場として、昨年10月、初めて株主懇談会を開催し、当社の近況報告、外部講師による講演に加え、懇話会を行いました。懇話会は、社長以下取締役が株主の皆さまと直接対話を行う場となりました。



平成28年度も株主懇談会を開催します。

日時 平成28年12月7日（水曜日）

会場 ホテル阪急インターナショナル

内容

昨年に続き、本年も株主懇談会を開催いたします。

- ・当社の近況報告
- ・外部講師による講演
- ・懇話会

個人投資家向け会社説明会

当社は、地元の皆さまに、池田泉州ホールディングスのことをよく知っていただくため、様々な形で、個人投資家向け会社説明会を開催しております。本年は、証券会社との共催という形で、会社説明会を開催いたしました。



株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするべく、株主優待制度をご用意しております。お菓子やお酒、食品などの地域の特産品と、株主優待定期預金のいずれかをお選びいただけます。

とっておきの地域特産品等をラインナップ！



保有株数	保有期間	優待内容			
10,000株以上	3年以上 ^(※)	株主優待カタログ（地域特産品等）	10,000円相当	いづれかを選択	株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当		
6,000株以上 10,000株未満	3年以上 ^(※)	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当		株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当		
2,000株以上 6,000株未満	3年以上 ^(※)	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当		株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	2,000円相当		
200株以上 2,000株未満	—	株主優待定期預金			

※3年以上継続保有の確認は、直近の3月31日を基準として遡り、毎年3月31日及び9月30日の当社の株主名簿に同一株主番号で連続して7回記載または記録されていることをもって判定いたします。

株主優待定期預金のお取扱内容

お取り扱い店舗	● 池田泉州銀行の全店舗窓口 ● インターネット支店・ダイレクト支店のテレホンバンキング（インターネットバンキングでのお取扱いはできません）
定期預金の種類	スーパー定期・スーパー定期300
お預入れ期間	1年
お預入れ金額	10万円以上500万円以下
適用金利	スーパー定期店頭表示金利+0.3%（初回満期日まで適用） （預入金額300万円以上の場合は、スーパー定期300の店頭表示金利+0.3%）

（上記は平成28年3月実績）

IRカレンダー

今後もタイムリーに決算内容などの財務情報をホームページなどでお知らせいたします。



株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
公告掲載方法	電子公告により行います。 ■公告掲載URL http://www.senshuikeda-hd.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告を行うことができない場合は、産業 経済新聞に掲載して行います。)
単元株式数	100株

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
☎ 0120-094-777

上場証券取引所 東京証券取引所

各種お手続きについて、詳しくは三菱UFJ信託銀行株式会社の
ホームページをご照会ください。

▶ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

配当金の受け取り口座（ゆうちょ銀行）追加のご案内

当社は従来からの配当金のお受取方法に加え、ゆうちょ銀行の貯金口座への振込みが可能となりました。
詳細については、証券会社の口座に株式を保有されている株主さまは株主さまの口座のある証券会社に、特別口座に
株式を保有されている株主さまは上記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部にご連絡ください。

ホームページのご案内

池田泉州ホールディングスのホームページに
決算情報や会社説明会、ニュースリリースな
どを詳しく掲載しておりますので、ぜひご覧く
ださい。

ホームページ

<http://www.senshuikeda-hd.co.jp/index.html>

